

株式会社舞浜リゾートライン セーフティレポート 2024

■ トップメッセージ	1
■ 輸送の安全に関する基本的な考え方	2
■ 輸送の安全を推進する社内の体制	3~10
■ 事故等の発生状況	11
■ 安全・安心への取り組み	12~15

トップメッセージ

株式会社舞浜リゾートライン
代表取締役社長
東樹 秀明



いつもディズニーリゾートラインをご利用いただき、誠にありがとうございます。

2023年度は、東京ディズニーリゾート®のアニバーサリーイベントに合わせたラッピングモノレールの運行や、パークのスペシャルイベント等に合わせたさまざまなデザインのフリーきっぷの発売などにより、多くのゲストのみなさまをお迎えすることができました。

また、2020年度より順次導入を進めてまいりました新型車両「リゾートライナー（Type C）」について、その5編成目となるグリーンが2024年1月1日より運行を開始したことで、計画していた全5編成の導入が完了いたしました。

一方、輸送の安全への取り組みについては、策定した「2024中期経営計画」に基づき、東京ディズニーシー・ステーションの老朽化対策工事が完了したほか、運行にかかわる設備面の更新や新たな防犯システムの導入など、ゲストの安全と安定運行の確保に努めてまいりました。

このほか、リスクアセスメントの取り組みを継続するとともに、各職場においては、危険予知（KY）活動を推進するなど、リスクに対する感度をさらに高めるための教育と訓練の機会を積極的に設け、安全目標の達成にむけて活動してまいりました。

こうした安全に対する取り組みにより、2023年度の安全目標である「有責事故0件」「有責輸送障害0件」を達成することができました。

これからも、ゲストのみなさまが安全・安心・快適にご利用いただけるよう、全社員が一丸となって取り組んでまいります。

この「セーフティレポート2024」は、鉄道事業法第19条の4に基づく安全報告書として、2023年度における当社の安全に対する取り組みなどについてご紹介し、広くご理解いただくために作成、公表いたしました。ぜひお読みいただき、みなさまの忌憚のないご意見、ご感想をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。



このコーポレートマークは、モノレールを想起させるかたちと5つのカラーで構成されています。

色はそれぞれ

「グリーン＝安心安全」「パープル＝創造力」「ブルー＝信頼」

「ピンク＝幸福感」「イエロー＝好奇心」

を意味し、常に私たちが大切にしている要素を表しています。

輸送の安全に関する基本的な考え方

安全基本方針・行動規範

当社では、輸送の安全に関する基本的な考え方として、3項目の安全基本方針を定めています。また、この安全基本方針がより具体的な行動に結びつくよう、7項目の行動規範を定めています。

安全 基本方針

私たちは法令を遵守し、安全を最優先する企業文化を築きます。

私たちは安全を確保する能力を高め続けます。

私たちは安全を確保する体制・設備・手順を維持向上させます。

安全 行動規範

1. 法令や規則を理解しこれを遵守する。
2. 幅広く収集したリスク情報に的確な処置を行い、事故や災害の未然防止に努める。
3. 複数の事項を対処する場合は、安全に関わる事項を優先する。
4. 発生している状況を具体的に把握し、迅速かつ正確に報告する。
5. 異常・緊急時に判断に迷いがある場合は、最も安全と認める取扱いをする。
6. 事故や災害が発生した際は、人命救助を最優先する。
7. 安全をより高めるために必要な事項を改善し続ける。

PDCAサイクル

輸送の安全を確保するためには、**Plan（計画）**、**Do（実行）**、**Check（チェック）**、**Act（改善）**の体制（**PDCAサイクル**）を確実に機能させる必要があります。

当社では、安全基本方針に基づき定めた安全目標や取組計画を実行しつつ、安全に対する検討および研究を継続し、さらに内部監査を実施することにより、安全活動のチェック、見直し、改善に向けた取り組みを行っています。

社長以下全キャストが一丸となって安全管理体制の確立に努めています。

次のページからは、当社のPDCAサイクルに沿った取り組みをご紹介します。



輸送の安全を推進する社内の体制

P

2023年度安全目標・取組計画

当社では安全基本方針や中期経営計画等に基づき、毎年度、輸送の安全の確保に関する目標と必要な取組計画について設定しています。

2023年度は、次のとおりとしました。

2023年度
安全目標

有責事故 0件
有責輸送障害 0件

2023年度
取組計画

1. 輸送安全・事故防止

- ・現場からの情報収集を徹底し、事故・労働災害を起こさせない組織風土を維持継続するための情報分析や改善活動の推進
- ・輸送障害発生時の早期復旧に向け、実践的な知識・技能の習得、対応力のレベルアップを目的とした各種訓練の評価指標の設定およびPDCAサイクルの確立

2. 防火・防災

- ・定期的な訓練計画のもとでの防火防災訓練の実施体制の強化
- ・最新の知見をもとにした防災計画および関連マニュアルの見直しおよび整備

3. 防犯

- ・当社および周辺施設で発生した事案に対しても、関係会社が横断的に即応できる体制整備と対応力強化に向けた取り組みの実施

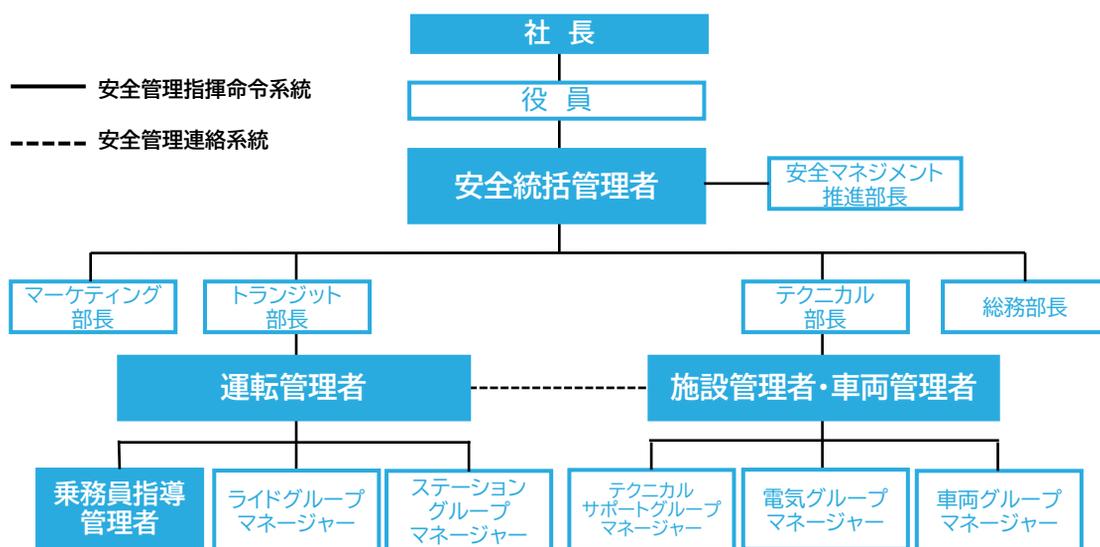
D 安全管理体制

安全管理規程

安全管理規程は、2006年10月に一部改正された鉄道事業法に基づき制定したものです。安全に関する基本的な方針や安全管理体制、管理方法のほか、社長や安全統括管理者をはじめとする各管理者の責務などを定めています。

安全管理体制図

安全管理規程で定める安全管理の体制は次のとおりです。



おもな管理者とその責務

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する業務を管理する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、乗務員の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

D 輸送の安全に関する会議の実施

輸送安全対策会

年間計画に基づいて、毎月1回開催される「輸送安全対策会」は、安全統括管理者を議長とし、運転管理者、施設管理者、車両管理者、乗務員指導管理者、その他必要に応じて関係部門長およびマネージャーが出席します。

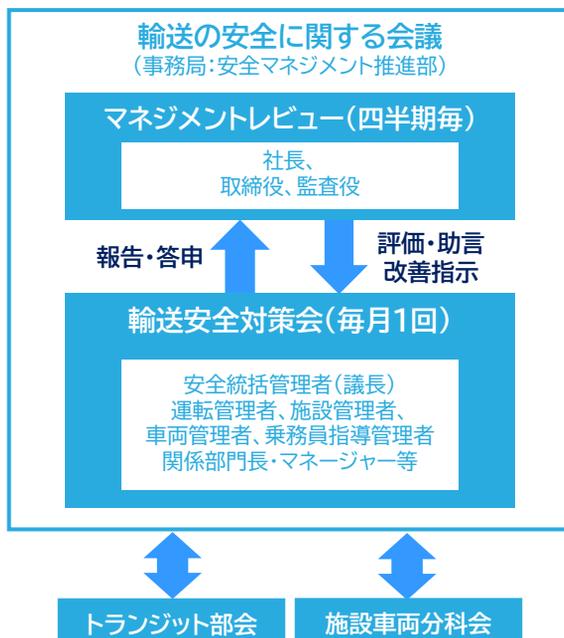
ここでは、当社および他社で発生した事故・トラブル等の報告と再発防止策の検討、中期的な視野のもと輸送安全に関わる事案の研究を行っています。また定期的実施する全体訓練（異常時総合訓練）の計画案の作成や、訓練実施後の検証も行っています。

この会議で話し合われた内容は、開催の都度、関係者へ報告されます。

マネジメントレビュー

四半期に一度開催される「マネジメントレビュー」は、安全統括管理者を議長とし、「輸送安全対策会」の出席者に加え、社長や取締役、監査役も出席します。

ここでは、安全管理体制の実施状況および輸送安全対策会での調査審議事項を社長に報告・答申し、その有効性の評価と助言を受けるとともに、社長は必要に応じて改善を指示します。



D 異常時に対する備え

異常時の取扱い

ディズニーリゾートラインでは、ドライバーレス自動運転を採用しています。そのため、車両トラブルなどの異常時にあっても、駅間での停止を極力回避したいという考えから、安全が確保されれば、次の駅まで運転可能なシステムとしています。

しかし、何らかの理由で自動運転が不可能となった場合は、運輸指令の指示により、ドライバー（運転士）がリゾートライナーへ乗り込み、手動運転が可能かどうかを確認します。

ドライバーによる確認の結果、運転が不可能だった場合は、次の方法によりゲストを救出します。

<p>救援列車 による方法</p>	<p>故障した列車と、その前または後ろの列車とを、ドライバーによる手動運転で連結させます。その後、最寄り駅まで運転する方法です。</p>
<p>はしご車 による方法</p>	<p>当社が所有するはしご車を使って、駅間で停止した列車内のゲストを救出する方法です。</p>
<p>昇降階段等 による方法</p>	<p>直接地上側に降車できる区間の場合は、車内と地上との間に昇降階段(またはわたり板)を架設し、列車内のゲストを救出する方法です。</p>

また、次のような方法でリゾートライナーを次の駅まで運転し、ゲストを救出する場合があります。

<p>非常電源装置 による方法</p>	<p>電力会社からの受電が停止するなどして停電が発生し、駅間に列車が停止した場合、変電所に併設する非常電源装置を起動させ、その電力を利用して、列車を次の駅まで運転する方法です。</p>
--------------------------------	--

万が一の事態に備え、ドライバーは社内規定に基づき、定期的な手動運転訓練を行っています。また各部門では、上記救出方法に用いる装置等の取扱いトレーニングを定期的に行っています。



D 異常時に対する備え

異常時訓練

当社では、運行トラブルが起きた時の早期復旧に向けて、実践的な知識・技能を習得し、対応力のレベルアップを図ることを目指し、訓練メニューを「個別訓練」「机上訓練」「全体訓練（異常時総合訓練）」の3段階で構成しています。このうち全体訓練は、個別訓練や机上訓練の総まとめとして、全社的に行うものです。

個別訓練	各部・各グループの訓練をベースとして実施し、必要な手順や重点事項の理解を促進させる
机上訓練	対策本部や後方支援など、個別訓練ではイメージしにくい活動の理解促進を図るとともに、全体訓練の事前周知として活用する
全体訓練 (異常時総合訓練)	個別訓練や机上訓練のまとめとして、過去の発生事例や発生頻度の上昇が予見される事象の中から、実施項目を選定し実施する

2023年度に実施した全体訓練は次のとおりです。

非常電源装置による列車移動訓練(2023年9月)

営業運転が終わった夜間の線路を使い、震度4の地震と、その後に大規模停電が発生したとの想定で、非常電源装置の電力を使用した複数列車の移動訓練を行いました。



救援列車による故障列車の收容訓練(2024年2月)

日中の車庫内において、本線上で車両故障が発生したとの想定で、地上からのドライバーの送り込み、救援列車と故障列車の併結、最寄駅までの非常運転といった対応手順に従って訓練を行いました。



これら全体訓練のほか、部門ごとでの定期的に行う個別訓練などで、異常時における習熟度と対応能力の向上を図っています。

防火・防災訓練

4つの駅と本社棟において、地震や火災を想定し、自衛消防活動の動きを確認するための自主防火・防災訓練を定期的に行っています。



D 災害に対する備え

災害マニュアルの整備

地震、台風などの強風、降雪といった自然災害に対する各種マニュアルを整備するとともに、必要に応じて見直しを図っています。

このうち2023年度は、おもに富士山の噴火を想定した「降灰対応マニュアル」を新たに制定、火山灰による影響を考慮したリゾートライナーの運行判断や、ゲスト・キャストへの対応を定めました。

災害時の取扱い

当社では、地震や強風等に備えた観測機器を設置しており、その計測データを中央指令室内の「気象観測装置」を通して常に監視しています。この数値が規制値を超えた場合、リゾートライナーの運転を制限します。

地震時の取扱い

当社設置の震度計が震度4以上の揺れを計測した場合、運行中のリゾートライナーを一旦停止させます。
揺れが収まった後、

- 震度4の場合、ゆっくりした速度で安全確認した後、異常がなければ運転を再開します
- 震度5弱以上の場合、地上からの線路点検を行った後、ゆっくりした速度で安全確認を行い、異常がなければ運転を再開します

このほか、緊急地震速報システムにより警報を受信した場合は、事前にリゾートライナーの運転を見合わせたり、緊急停止させたりします。

強風時の取扱い

当社設置の風向風速計で計測された平均風速が20m/sを超えた場合、リゾートライナーの速度を落として運転します。
同じく平均風速が25m/sを超えた場合、リゾートライナーの運転を見合わせます。

台風接近時や降雪時など、安全確保のため、リゾートライナーの運転を計画的に見合わせる、いわゆる「計画運休」を行う場合があります。

計画運休や運転見合わせを行う際に、多言語での情報提供を目的としたデジタルサイネージによる表示を、2023年2月から運用を開始しています。（各駅の自動券売機上部のモニターに表示）

悪天候により、明日10:00以降の
運転を見合わせます。

Operation will be suspended from 10:00 a.m. tomorrow due to inclement weather.
由于恶劣天气，列车将于明日10:00起暂停运行。
악천후로 인해 내일 10:00 이후 운전을 중단합니다.
因天候不佳影响，明日 10:00 以后暂停行驶。
株式会社 東海リゾートライン

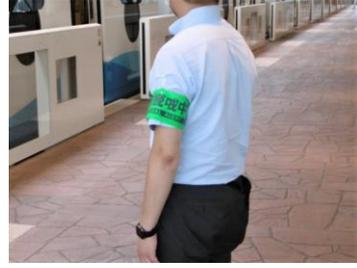
強風のため、
運転を見合わせています。

Operation suspended due to strong wind.
由于大风，目前列车暂停运行。
강풍으로 인해 운전을 중단하고 있습니다.
因强风影响，现正暂停行驶。
株式会社 東海リゾートライン

デジタルサイネージの表示例

D 鉄道テロ・事件に対する備え

鉄道テロや事件の未然防止のため、私服勤務の駅係員や本社社員が「特別警戒中」の腕章を着け、駅構内やモノレール車内の巡回に取り組んでいます。



駅のホームやコンコースにあるデジタルサイネージでは、国土交通省作成の注意喚起ポスターを掲示しています。



駅や車内で不審な行動や不審なものを見かけた際には、お近くのキャストまでお知らせください。

当社キャストの防火・防災、防犯意識の向上を目的とした社内向けイベントとして「防災・防犯フェア2023」を開催しました。

防災や防犯に関する展示のほか、火災・地震のVR体験や千葉県警察よくし隊「あおぼーし」のみなさんによる防犯講話など、趣向を凝らした内容をとおして、キャストの安全に対する意識向上を図りました。



C

運輸安全マネジメント制度に係る内部監査の実施

運輸安全マネジメント制度にかかる内部監査は、輸送の安全の確保のため、当社の安全管理体制が適切に機能しているかを確認し、問題点や課題を見つけ出すために行うもので、安全マネジメント推進部が中心となって、各部から選出される内部監査人により年1回実施しています。

2023年度の内部監査は、

- 安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等についての適合性・有効性の確認
- 運輸指令の日常業務における運行への影響が高い作業の適合性・有効性の確認等について、経営トップや関係者へのインタビュー、現場でのオペレーション実査などを通して確認、その監査結果を、社長および安全統括管理者へ報告しました。

この監査結果をもとに、継続的な業務の見直しを行うとともに、安全管理体制の維持向上を図っていきます。

A

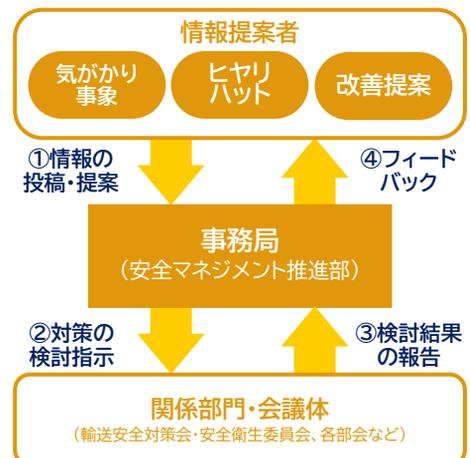
ボトムアップ情報の収集

ボトムアップ情報収集は、すべてのキャストを対象に、日々の業務の中における「ヒヤリ・ハット事象」や「改善提案」などを誰でも直接発信できる制度です。

集まった情報は事務局が集約し、その対策について効果的に検討・実行できる関係部門または会議体に検討を指示します。

検討を指示された部門等は、それぞれの会議で対策を検討し、その結果を事務局および提案者へフィードバックします。

12ページに記載の「エスカレーター手荷物落下防止対策」は、キャストからのボトムアップ情報を受け、関係部門で検討し実施したものです。



事故等の発生状況

2023年度の事故等の発生状況は、次のとおりです。

鉄道運転事故

鉄道運転事故は、ありませんでした。

鉄道運転事故とは、国土交通省の「鉄道事故等報告規則」(省令)に基づく、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身傷害事故、鉄道物損事故をいいます。

インシデント

インシデントは、ありませんでした。

インシデントとは、省令に基づく、事故には至っていないものの運転事故が発生するおそれがあると認められる事態のことをいいます。

輸送障害

輸送障害は、ありませんでした。

輸送障害とは、省令に基づく、国土交通省への報告対象となった列車の運休または30分以上の遅れをいいます。

安全・安心への取り組み

安全・安心への投資

安全・安定運行の基盤となる設備投資は積極的に実施しております。
2023年度に実施した主な内容は次のとおりです。

駅施設修繕工事

- 東京ディズニーシー・ステーション
屋根や外壁の経年対策などを目的として、2021年度から修繕工事を実施、2023年4月に竣工しました。
- リゾートゲートウェイ・ステーション
屋根や外壁の経年対策、法令改正に伴う耐震化対策などを目的として、2024年1月から修繕工事を実施しています。
(2025年度末竣工予定)

「車内非常用設備等の表示に関するガイドライン」に基づく表示変更対策 (2023年12月)

国土交通省が2022年6月に策定した「車内非常用設備等の表示に関するガイドライン」に基づき、リゾートライナー（Type C）車内の非常通話装置の表示内容を変更しました。



新型車両「リゾートライナー（Type C）」1編成導入 (2024年1月)

2020年7月から導入が始まった新型車両「リゾートライナー（Type C）」は、2024年1月1日に5編成目の「グリーン」がデビューしたことにより、計画していた全5編成の導入が完了しました。



エスカレーター手荷物落下防止対策 (2024年3月)

エスカレーター利用中の手荷物落下を防止する対策として、全駅のエスカレーターにサインを設置しました。



安全運行を支えるシステム

ディズニーリゾートラインでは、自動列車運転装置(ATO)によるドライバーレス運転を行っています。これを支えるため、信号システムには保安度の高い自動列車制御装置(ATC)を導入するとともに、各駅のホームには、列車との接触や転落防止のためのホームドアを設置しています。

なお、ディズニーリゾートラインのドライバーレス運転は、一般の無人運転とは異なり、列車の最後部にコンダクター（車掌）が乗務しています。コンダクターは、ゲストのみなさまへのご案内やドアの開閉、車内のモニター、さらに異常時の避難誘導等を柔軟に対応出来るように訓練をしています。

このほか、列車の運行を総合的に管理する列車運行総合制御装置（TTC）や、機器の状態が把握できる車両モニタ装置の搭載等により、安全確保を図っています。

安全運行を支えるキャスト

ディズニーリゾートラインの安全運行は、システムのみならずテクニカル部門とトランジット部門それぞれのキャストが互いに連携を取り、各々が役割を完遂することで支えています。

キャストは、危険予知トレーニング（KYT）や定期的な実施する教育・訓練等によって、迅速で的確な対応が取れるよう、自ら積極的な意識付けに取り組んでいます。



安全にご利用いただくために

ディズニーリゾートラインをこれからも安全にご利用いただけるよう、みなさまのご協力をお願いします。

エスカレーターのご利用について

- エスカレーターをご利用の際は、安全のため、手すりにつかまりステップの黄色い線の内側にお立ちください。また、荷物は落とさないようにしっかりとお持ちください。



荷物の落下に注意
てを はなさないでください



HOLD ONTO BAGS
拿好行李以防坠落



- ベビーカーのご使用やキャリーケースなどの大きな荷物をお持ちの際は、エレベーターをご利用ください。

ホームや車内では

- 発車ベルが鳴ってからの駆け込み乗車は、ご自身や付近のゲストの思わぬケガのもとになります。次の列車をお待ちください。
- ホームや車両のドアに手をつけていると、開く際に戸袋に手が引き込まれるおそれがあります。小さなお子様をお連れで、ドア近くにお立ちの際は十分にご注意ください。
- 列車の走行中、やむを得ず急ブレーキがかかる場合があります。安全のため、乗車中は座席にお座りになるか、お立ちの場合は近くの手すりやつり革におつかまりください。

みなさまへのお願い

- 車内には、非常時にコンダクターと通話ができる「非常通話装置」が各車両に設置されています。車内において急病人が発生したり、不安全な行為等を目撃されたりした時は、コンダクターにお知らせください。
- 緊急に列車を止めなければならないときは、ホームの中央付近に設置してある「STOPボタン」を押してください。
- 危険物等の持ち込みは固くお断りいたします。保安上の理由により、手回り品の内容を点検させていただきます場合がございます。



非常通話装置



STOPボタン

安全にご利用いただくために

ゲストのみなさまに安心してご利用いただくために、みなさまからお寄せいただいたご意見を反映させています。

エレベーター乗り場には、車いすをご利用の方をはじめ、エレベーターを必要とされる方への優先利用にご協力いただけるよう、案内表示の設置を行っています。

車いすやベビーカーをご利用の方にも、モノレールの乗り降りがスムーズにできるよう、固定式スロープを全てのドア位置に設置しています。

また、すべてのゲストのみなさまに安心・快適にご利用いただくため、サービス介助士の資格を持つキャストも在籍しています。

全4駅にAED（自動体外式除細動器）を設置しています。

また、キャストは適切にAEDを取り扱えるように普通救命講習を受講しており、定期的に取り扱い訓練も実施しています。



お問い合わせ

当社のセーフティレポートへのご意見やご感想、安全の取り組みに関するご意見がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社舞浜リゾートライン
安全マネジメント推進部
TEL:047-305-2407（平日9:00~16:00）
〒279-8523 千葉県浦安市舞浜2番地18